

蒲郡市男女共同参画情報紙

はばたき

特集●これからの介護について

「介護ってだれがやるの?」

「家事場のパパデカラ」

(平成26年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ)

第26号
2014.9



特集

これからの介護について ～介護ってだれがやるの?～

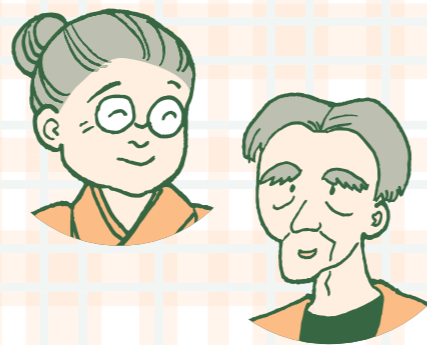
4月1日現在、蒲郡市の高齢化率(蒲郡市の総人口に占める65歳以上の高齢者の割合)は26.8%。今後もより一層高齢化が進んでいくと思われます。それに伴って、介護や支援を必要とする高齢者が増え、介護者も増えると思われています。国民生活基礎調査などによると、これまでの主な介護の担い手は同居の子の配偶者、つまり嫁だったのがその割合は低下し、夫や息子が妻や親を介護する割合が増えてきています。また未婚の一人息子や一人娘が介護したり、離婚による単身者による介護、一人っ子同士の結婚で2人で4人の親を抱えたりといったケースなど介護者の形態が変化しています。女性の社会進出も進み、男女の役割分担への意識も変化しています。今は関係ないと思っている人も他人事ではありません。これからの介護について、みんなで協力していくためにどうすればよいか考えてみましょう。

介護は女性の役割? ～太介護時代がやってくる?～

厚生労働省の「平成22年国民生活基礎調査」によると、介護を必要とする場合の主な介護者は同居の家族で「配偶者」がもっとも多く、同居家族の主な介護者の約7割は女性です。家事・育児や仕事をしながら介護をも担っている女性がたくさんいます。「男は仕事、女は家庭」という固定的な考え方がいまだ根強く、家事や介護は女性がやるものと決めつけられていることの裏返しといえます。

また、介護者の年齢が男女ともに60歳以上が6割を占めており、介護する側、される側ともに高齢者である「老老介護」の深刻化や、未婚や離婚による単身者による親の介護など、介護の役割は女性男性、未婚既婚に関わらず、今や誰もが関わらなくてはならない状況になってきています。

そして、団塊の世代が75歳になる約10年後は「大介護時代」を迎えるといわれています。

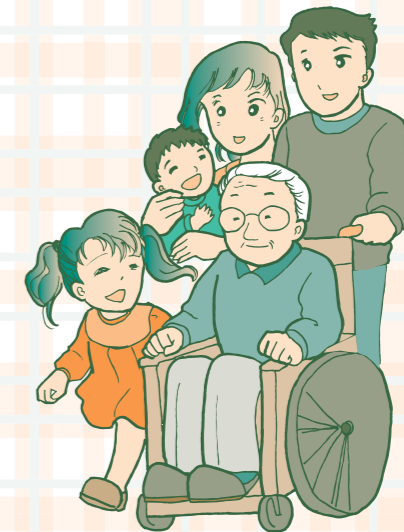


これからの介護について ～頑張りすぎないで～

家族の中のお年寄りや或いは病気や不慮の事故によって、介護生活はある日突然訪れます。

慣れない介護生活とそれを受け入れることは簡単なことではありません。介護を一人で抱え込んで頑張りすぎないためにも、日ごろから介護について関心を持ち、介護サービスなど利用できるものを調べたり、地域の相談・支援機関など情報収集しておくといよいでしょう。

また、家族みんなで一緒に考え、協力して介護に取り組んでいくという意識を持つことが大切です。

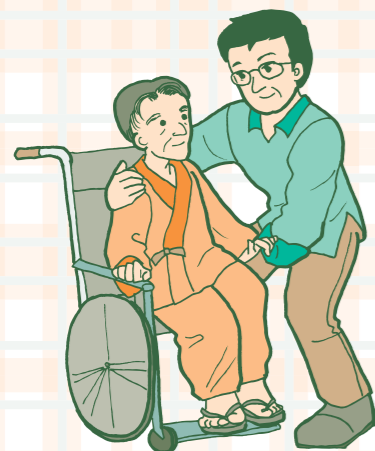


“ケアメン”の増加 ～介護する男性の増加～

これまで介護は妻や子の妻の役割とされてきましたが、少子高齢化で家族形態が変化してきて、「ケアメン」と呼ばれる親や妻を介護する男性が増えています。

働きながら介護をしている男性も増えています。仕事をしながらの介護は負担が大きく、総務省の「平成24年度就業構造基本調査」によると、2011年10月からの1年間に、約10万人が介護を理由に仕事を辞めており、今後さらに増えるであろうと指摘されています。

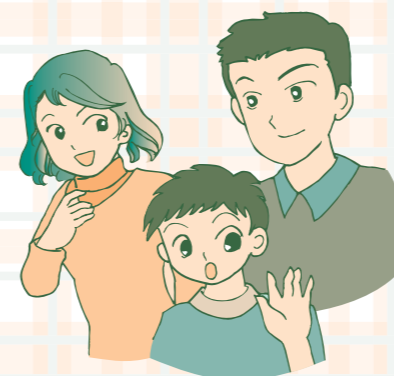
これまで少子化対策として「仕事と子育ての両立」がワークライフバランスの重要な視点でしたが、これから高齢化が一段と進むと「仕事と介護の両立」も重要になります。ワークライフバランスの実現は、子育て世代だけではなく企業の中核にいる中高年層なども含めた世代を超えた喫緊の課題となり、企業は新たな対応を迫られることになると思われます。



介護が必要になったら ～みんなで協力して!地域のサポート～

「介護は社会全体で担うもの」という理念のもと、いざ介護が必要となった時に民間の介護サービス事業者と家族を援助して介護の負担を軽減し、質の高い介護を受けられるようにみんなで支え合うために生まれたのが「介護保険」です。

家族で介護が必要になったら、家族や地域の助けを借ります。市内に地域包括支援センターは5箇所あり、地域で暮らす高齢者の皆さんの生活を介護、福祉、保険、医療など総合的に支えてくれます。



○市役所長寿課(☎66•1105)

○地域包括支援センター(中央地域包括支援センター ☎69•6674)他

家事育児 ～家族みんなで協力しよう！～

近年は共働きの世帯が増えてきて、「カジダン」や「イクメン」といった家事や育児に積極的に関わる男性も増えつつありますが、まだまだ女性の負担が大きいのも現状です。

「平成23年社会生活基本調査」の「夫婦の生活時間の使い方」（子どもが6歳以下の夫、妻、有業者における総平均時間）によると国籍で明らかな違いが見られます。イギリスやアメリカでは夫の家事育児の時間が3時間以上であるのに、日本の夫は1時間程度で、対する妻は5時間以上と非常に差がみられます。

性別による役割分担意識をなくして、家族みんなで協力して家事をしましょう。

まずはできることから！

- ☆掃除や洗濯、簡単な料理など、ちょっとしたことから始めてみよう！
- ☆子どもと学校のことや友達のことを話してみよう！
- ☆資源回収などの町内会活動へ参加してみよう！
- ☆「ありがとう」とお互いに感謝し合おう！



DV 一人で悩んでいませんか？

配偶者や恋人からの暴力で悩んでいませんか。配偶者からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などは人権を侵害する犯罪行為です。「自分が悪いから」「自分さえ我慢すれば」と一人で悩まずに相談してください。

相談実施機関	電話番号	受付時間	内容
愛知県女性相談センター	☎052-962-2527	月～金曜日 午前9時～午後9時 土・日曜日 午前9時～午後4時	相談員による電話相談
	☎052-962-2528	月曜日 午後2時～3時30分 第1・3・5月曜日は女性弁護士が対応	弁護士による DV専門電話相談
愛知県警察本部	☎052-961-0888	24時間受付	ストーカーからの被害に関する相談
内閣府男女共同参画局 (DV相談ナビ)	☎0570-0-55210	24時間受付	全国共通。近くの相談窓口を自動音声で案内

編集後記 Editor's note

この10年で介護の担い手はずいぶん変わってきました。最近では「ケアメン」といわれる男性介護者や未婚の介護者が増加しています。仕事と介護の両立ができず、離職せざるを得ないこともあり、経済的にも精神的にも困窮するケースが増えてきています。行政や市内各所の包括支援センター、地域の民生委員などに相談して、一人や家族だけで抱え込まずに地域みんなでこれからの介護を支えていけたらいいですね。

はばたき 第26号

2014.9

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

発行／蒲郡市 文化スポーツ課

編集／「はばたき」編集委員

〒443-8601 蒲郡市旭町17-1

■TEL 0533-66-1167 ■FAX 0533-66-1199

■Eメール bunsपो@city.gamagori.lg.jp